

# 花咲い、 風の吹くらん

わら

特別展

Special Exhibition  
Flowers Bloom and Winds Blow:  
Nature Motifs in Classical Japanese Art

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 月曜日(但し、4/29(月・祝)・5/6(月・振休)は開館、4/30(火)・5/7(火)は休館  
観覧料 一般1,600円・高大生800円・小中生500円  
※20名様以上の団体は一般1,400円・高大生700円・小中生400円  
※土曜日は高校生以下入館無料  
主催 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫  
協力 名古屋市交通局



2024 4.13(土) — 6.2(日)

徳川美術館  
THE TOKUGAWA ART MUSEUM  
TEL (052)935-6262 FAX (052)935-6261

蓬左文庫  
HOSA LIBRARY CITY OF NAGOYA  
TEL (052)935-2173 FAX (052)935-2174  
〒461-0023 名古屋市東区徳川町

企画展

# 人ひと と ヒト

浮世絵の人と顔



Thematic Exhibition  
**HITO: Human Faces and Figures in Ukiyo-e**  
主催: 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫 協力: 名古屋テレビ放送株式会社

# 花咲い 風の吹くらん

月、照る



武蔵野蒔絵貝桶  
江戸時代 17世紀

咲き誇る花、花を散らす風や雨、煌々と照る秋の月、降りつもる冬の雪など、自然がみせる美しい風物。移りゆく自然の美しさに惹かれた人々は、これらに心を寄せて詩歌に詠み、自らの心情を投影してきました。また絵画に描きあらし、工芸品を彩る要素としても、日本のみならず東洋の美的生活を支える基盤となってきました。

雪月花をはじめ、風や雨など変化に富んだ自然現象に注目して、古典文学や絵画・工芸にみられる風雅の世界を紹介します。



竹林残月図屏風 田中訥言筆 江戸時代 19世紀 個人蔵



白地青海波に紅葉文縫箔(部分)  
江戸時代 18世紀

紅葉、染まる



唐物茶壺 銘夕立 大名物  
徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所用  
中国・南宋～元時代 13-14世紀

雨、降る



籬梅蒔絵手箱  
室町時代 16世紀

花、咲く

# 人ひと と

浮世絵の歴史を通じて中心的なジャンルは美人画と役者絵です。これは人物を描くことが浮世絵の最大の関心事であったことを示しています。時代がくがって登場した浮世絵師の歴史画や風景画でも、人物表現が重要な役割を果たすことが多くありました。

本展では、浮世絵において、誰を描くか、どのように描くかなど、さまざまな視点から浮世絵の人物表現の諸相を、徳川美術館、名古屋市博物館、そして名古屋市蓬左文庫のコレクションから紹介します。



歌川国貞 今様押絵鏡 竹拔五郎 大判錦絵  
万延元年(1860) 名古屋市博物館蔵



歌川広重 東海道五拾三次之内  
藤枝 人馬継立 横大判錦絵(部分)  
天保5～7年(1834～36)頃 名古屋市博物館蔵



歌川国芳 註文御詠染あいねつみ 団扇絵判錦絵  
嘉永5年(1852) 名古屋市博物館蔵



歌川国芳 としよりのよふな若い人だ  
大判錦絵 弘化4年(1847)頃  
名古屋市博物館蔵

表面 上段/牡丹図屏風 八曲一双の内左隻 下段/右から 月岡芳年 雪月花の内月 市川三升 毛刺九右衛門 大判錦絵三枚続 明治23年(1890)/月岡芳年 風俗三十二相 にくらしう 名古屋嬢之風俗 大判錦絵 明治21年(1888) 名古屋テレビ放送株式会社蔵

※所蔵の記載がない作品は徳川美術館蔵

## 関連企画

※講座への申込方法など、詳しくは当館ホームページをご覧ください。(2月下旬掲載予定)

- 土曜講座**
- ① **アイドル・スター・ヒーロー**  
浮世絵に描かれた人たち  
副館長兼学芸部長 神谷 浩
  - ② **うつりゆくものに美を見出す**  
学芸部長代理 吉川美穂

- 特別講座**
- 「浮世絵のA～Z」(全2回 連続講座)
  - ①「浮世絵はおもしろい！」  
副館長兼学芸部長 神谷 浩
  - ② **木版画 摺師による実演**  
(北斎「神奈川冲浪裏」)と摺体験  
浮世絵木版画彫摺技術保存協会 京都支部長 中山誠人氏

日 時: ①4月20日(土) ②5月18日(土)  
各日午後1時30分～午後3時(開場:午後1時)  
定 員: 各日80名(事前申込制/先着順)  
会 場: 徳川美術館 講堂  
受 付: 3月1日(金)午前10時より受付開始  
※空きがあれば当日受付(参加費 各1,000円(入館料別途要))  
にて受講可能

日 時: ①5月11日(土)  
午後1時30分～午後3時(開場:午後1時)  
②5月12日(日)  
【午前の部】10時30分～12時(開場:10時)  
【午後の部】1時30分～3時(開場:1時)  
定 員: ①60名  
②午前の部・午後の部 各30名(事前申込制/先着順)  
会 場: 徳川美術館 講堂  
参加費: 全2回 3,800円(税込/入館料別途要)  
受 付: 4月16日(火)午前10時より一般受付開始  
※どちらか1講座のみの受講不可。  
※②については、午前または午後のいずれかの希望を必ず記載。

便利でお得な  
オンラインチケット

発売日:3/15(金) 午前10時～  
・3/15～4/12 前売券(割引あり)  
・4/13～6/2 通常観覧券

次回展覧会  
6月8日(土)～7月21日(日)

特別展 御堂屋改修記念  
尾張徳川家と菩提寺建中寺



葵紋付黄金鎧通太刀拵

企画展  
ハマる! 工芸

螺鈿梅花形欄間人物園食籠(部分)



〒461-0023 名古屋市東区徳川町

- 基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
- ヌーグル「徳川園 徳川美術館 蓬左文庫」下車
- JR中央線「大宮根駅」下車南口より徒歩10分